

【 投 薬 】

２７５ ドネペジル塩酸塩の算定について②

《令和６年８月３０日》

○ 取扱い

投与開始時からのドネペジル塩酸塩【５mg】（アリセプト錠 ５mg 等）の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

ドネペジル塩酸塩（アリセプト錠等）の添付文書の用法・用量は、「１日１回 ３mg から開始し、１～２週間後に ５mg に増量し、経口投与する」とあり、「高度のアルツハイマー型認知症患者には、５mg で４週間以上経過後、１０mg に増量する」とされている。

また、用法・用量に関連する注意に「３mg/日投与は有効用量ではなく、消化器系副作用の発現を抑える目的なので、原則として１～２週間を超えて使用しないこと。」と記載されており、消化器系副作用として、胃・十二指腸潰瘍、食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢等が現れる旨記載されている。

上記用法・用量及び副作用発現のリスクを考慮した場合、投与開始時からの増量投与は適切ではないと考える。

以上のことから、投与開始時からのドネペジル塩酸塩【５mg】（アリセプト錠 ５mg 等）の算定は、原則として認められないと判断した。